

2027 年度

文化政策学部・デザイン学部

入学者選抜要項



静岡文化芸術大学

目次

文化政策学部 アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）	1
デザイン学部 アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）	2
各選抜における評価内容.....	3
募集人員	7
入試日程	7
出願資格	8
出願上の注意事項.....	12
入学者選抜の実施教科・科目等.....	13
受験上及び修学上の配慮を必要とする場合の事前相談	22
学生募集要項の配信について	22
アクセスマップ	22
付録 2026 年度静岡文化芸術大学入試結果.....	23

掲載内容から変更することがあります。（掲載内容は 2026 年 7 月 27 日現在）
変更した場合は、本学公式 Web サイトにて公表しますので、出願をする際は
最新の情報をご確認ください。

文化政策学部 アドミッション・ポリシー(入学受入れの方針)

文化政策学部は、本学部の教育研究上の目的に基づき、国際文化学科、文化政策学科、芸術文化学科の3学科を設置し、以下のような関心と意欲をもつ人を、積極的に受け入れる。

国際文化学科

- ・日本と世界の多様な文化に関心があり、それらを深く学びたい人
- ・外国語を使い、世界の人々と交流し相互理解を深めたい人
- ・ビジネスや国際協力、地域貢献を通して、グローバル社会で活躍したい人

文化政策学科

- ・社会と文化について総合的に学び、その問題を発見・解決したい人
- ・社会調査の方法、政策立案の手法を身につけたい人
- ・行政や企業、NPOなどで活躍し、地域社会と産業に貢献したい人

芸術文化学科

- ・文化・芸術とそれを取りまく社会について研究したい人
- ・芸術やアートマネジメントに関する実践的知識を身につけたい人
- ・文化・芸術を通じて地域を活性化し、創造性をもって社会に貢献したい人

また3学科ともに、入学者には、以下の基礎能力を身に付けていることを求める。

【知識・理解】

大学において幅広く学ぶために必要な基礎的知識・理解をもつこと。とくに人間や文化の多様性および現代社会が直面する問題を理解するための基礎となる知識をもつこと。

【汎用的技能】

大学で学ぶ上で基本となる論理的な文章を読む力および読解した内容をもとに自分で考えたことを説明・表現する力をもつこと。

【態度・志向性】

文化や社会の在り方への関心をもち、その中から課題を発見し追究していこうとする積極性をもつこと。

【総合的な学習経験と創造的思考力】

関心のある主題について多角的にとらえる力、および、社会の課題の発見や多様な人々との協働のために必要となる論理的思考力・表現力をもつこと。

高等学校などの各教科では、以下の基礎知識を身に付けておくことを求める。

【国語】大学での学びの基礎となる読解力、論理的思考力、表現力とそれに関わる幅広い分野の基礎知識

【外国語】異文化を理解する手段となる外国語の読解力、外国語による表現力とそれらを支える基礎知識

【地歴・公民】日本を含む世界の文化・歴史及び現代社会についての関心と基礎知識

【数学・理科・情報】自然科学が扱うさまざまな原理・現象への関心と論理的思考力及びそれらを支える基礎知識

デザイン学部 アドミッション・ポリシー(入学者受け入れの方針)

デザイン学部は、時代とともに変化する人や社会の価値観、文化の多様性を視野に入れ、さまざまな人の立場で考えるデザインを基本に、快適に暮らせる生活空間や環境を提案し、国際社会の発展や文化の向上に貢献できる人材を育成する。

この教育方針の下、デザイン学科を設置し、以下のような関心と意欲をもつ人を、積極的に受け入れる。

デザイン学科

- ・デザイン分野に強い関心をもち、幅広くデザインを学びたい人
- ・論理的な思考にもとづき、新しい価値の創出を目指す人
- ・直観力や審美眼をみがき、自らの発想を的確に表現したい人
- ・地球環境及び社会や地域に関心をもち、現状を分析して対応策を考えようとする人

また、入学者には、以下の基礎能力を身に付けていることを求める。

【知識・理解】

大学において幅広く学ぶために必要な基礎的知識・理解をもつこと。とくに現代社会の重要な課題を理解し、それらの課題の解決のためにデザインの果たす役割を考えるための基礎となる知識を身に付けていること。

【汎用的技能】

大学で学ぶ上で基本となる論理的な文章を読む力および読解した内容をもとに自分で考えたことを説明・表現する力をもつこと。

【態度・志向性】

社会のさまざまな課題への関心をもち、その中から課題を発見し追究していこうとする積極性をもつこと。

【総合的な学習経験と創造的思考力】

自分の関心のある主題について多角的にとらえる力、および、社会・文化の課題の発見や多様な人々との協働のために必要となる論理的思考力・表現力をもつこと。

高等学校などの各教科では、以下の知識・能力を身に付けておくことを求める。

- 【国語】大学での学びの基礎となる読解力、論理的思考力、表現力とそれに関わる幅広い分野の基礎知識
- 【英語】異文化を理解する手段となる英語の読解力、英語による表現力とそれらを支える基礎知識
- 【地歴・公民】日本を含む世界の文化・歴史及び現代社会についての関心と基礎知識
- 【数学・理科】自然科学が扱うさまざまな原理・現象への関心と論理的思考力およびそれらを支える基礎知識
- 【美術】美術に関する基礎的な知識・技能、優れたモノやコトに接した経験、日常生活の中で美しさに気づく鋭敏な感性
- 【情報】問題の発見・解決に資する基本的な情報技術の知識と、それを適切かつ効果的に活用する基礎能力

各選抜における評価内容

国際文化学科

(1) 学校推薦型選抜（公募制）

国際文化学科での学びに対して強い関心と意欲をもち、本学科の特徴を活かしつつ学習し成長できる受験生を、一般選抜以外の基準で受け入れるための入学試験です。

一定の学力水準を備え、高等学校での学習やその他の活動に真摯に取り組んできた人を求めている。出願には調査書全体の評定平均値が 4.0 以上であることが条件です。

この入学試験では、「推薦書」「調査書」「志望理由書」の内容を踏まえ、関心、意欲、態度などを「面接」で評価します。さらに「小論文」で、読解力、論理的思考力、表現力などを評価します。

なお、本学の設立の趣旨に鑑み、静岡県内の高等学校出身者を一定数受け入れます。

(2) 学校推薦型選抜（英語重点型公募制）

英語力に優れ、国際文化学科での学びに対して強い関心と意欲をもち、本学科の特徴を活かしつつ学習し成長できる受験生を、一般選抜以外の基準で受け入れるための入学試験です。

高等学校での学習やその他の活動に真摯に取り組んできた人を求めている。出願には調査書全体の評定平均値が 3.8 以上でかつ外国語の評定平均値が 4.3 以上であることが条件です。ただし、本学が指定する英語の資格・検定の基準を満たしている場合は、調査書全体の評定平均値が 3.5 以上であることが条件です。

この入学試験では、「推薦書」「調査書」「志望理由書」の内容を踏まえ、関心、意欲、態度、英語会話を「面接」で評価します。なお、「面接」は、日本語および英語で行います。さらに「英語小論文」で、英語の読解力、論理的思考力、表現力などを評価します。

なお、本学の設立の趣旨に鑑み、静岡県内の高等学校出身者を一定数受け入れます。

(3) 一般選抜（前期日程）

国際文化学科で学ぶ上で必要となる幅広い基礎学力を身につけた受験生を選抜するための入学試験です。

大学入学共通テストの「外国語」を必須、「国語」「地理歴史」「公民」「数学」「理科」「情報」からは 2 科目を選択必須とし、選択科目からは高得点の 2 科目を採用します。これにより高等学校などで幅広い分野の基礎的な知識の修得ができているかを評価します。

個別学力試験の「国語」および「外国語」では、読解力、論理的思考力、表現力などを評価します。

(4) 一般選抜（後期日程）

国際文化学科で学ぶ上で必要となる基礎学力を身につけた受験生を選抜するための入学試験です。

大学入学共通テストの「国語」および「外国語」を必須とし、「地理歴史」「公民」「数学」「理科」「情報」から最高得点の 1 科目を採用します。

個別学力試験の「面接」は、「調査書」や当日に書く文章の内容を踏まえて行います。学部・学科の特性の理解、興味・関心のある事柄に対して主体的に取り組む姿勢や意欲、多様な人々と協働して学ぶ態度などを重点的に評価します。

文化政策学科

(1) 学校推薦型選抜（公募制）

文化政策学科での学びに対して強い関心と意欲をもち、本学科の特徴を活かしつつ学習し成長できる受験生を、一般選抜以外の基準で受け入れるための入学試験です。

一定の学力水準を備え、高等学校での学習やその他の活動に真摯に取り組んできた人を求めている、出願には調査書全体の評定平均値が 4.0 以上であることが条件です。

この入学試験では、「推薦書」「調査書」「志望理由書」の内容を踏まえ、関心、意欲、態度などを「面接」で評価します。さらに「小論文」で、読解力、論理的思考力、表現力などを評価します。

(2) 一般選抜（前期日程）

文化政策学科で学ぶ上で必要となる幅広い基礎学力を身につけた受験生を選抜するための入学試験です。

大学入学共通テストの「国語」および「外国語」を必須とし、「地理歴史」または「公民」のいずれかを選択必須、さらに「地理歴史」「公民」で選択しなかった科目および「数学」「理科」「情報」から最高得点の 1 科目を採用します。これにより高等学校などで幅広い分野の基礎的な知識の修得ができていないかを評価します。

個別学力試験の「国語」および「外国語」では、読解力、論理的思考力、表現力などを評価します。

(3) 一般選抜（後期日程）

文化政策学科で学ぶ上で必要となる基礎学力を身につけた受験生を選抜するための入学試験です。

大学入学共通テストの「国語」および「外国語」を必須とし、「地理歴史」「公民」「数学」「理科」「情報」から最高得点の 1 科目を採用します。

個別学力試験の「面接」は、「調査書」や当日に書く文章の内容を踏まえて行います。学部・学科の特性の理解、興味・関心のある事柄に対して主体的に取り組む姿勢や意欲、多様な人々と協働して学ぶ態度などを重点的に評価します。

芸術文化学科

(1) 学校推薦型選抜（公募制）

芸術文化学科での学びに対して強い関心と意欲をもち、本学科の特徴を活かしつつ学習し成長できる受験生を、一般選抜以外の基準で受け入れるための入学試験です。

一定の学力水準を備え、高等学校での学習やその他の活動に真摯に取り組んできた人を求めている、出願には調査書全体の評定平均値が4.0以上であることが条件です。

この入学試験では、「推薦書」「調査書」「志望理由書」の内容を踏まえ、関心、意欲、態度などを「面接」で評価します。さらに「小論文」で、読解力、論理的思考力、表現力などを評価します。

なお、多様な学生を集める観点から、普通科出身者はもとより、専門学科および総合学科の出身者を一定数受け入れます。

(2) 一般選抜（前期日程）

芸術文化学科で学ぶ上で必要となる幅広い基礎学力を身につけた受験生を選抜するための入学試験です。

大学入学共通テストの「国語」および「外国語」を必須とし、「地理歴史」「公民」から最高得点の1科目を採用します。これにより高等学校などで幅広い分野の基礎的な知識の修得ができているかを評価します。

個別学力試験の「国語」および「外国語」では、読解力、論理的思考力、表現力などを評価します。さらに「面接」では、「調査書」や「志望理由書」の内容を踏まえつつ、芸術文化学科の特性を理解しているか、自分の関心をこの学科でどのように深めようとしているかについて評価します。

(3) 一般選抜（後期日程）

芸術文化学科で学ぶ上で必要となる基礎学力を身につけた受験生を選抜するための入学試験です。

大学入学共通テストの「国語」および「外国語」を必須とし、「地理歴史」「公民」「数学」「理科」「情報」から最高得点の1科目を採用します。

個別学力試験の「面接」は、「調査書」や「志望理由書」、当日に書く文章の内容を踏まえて行います。学部・学科の特性の理解、興味・関心のある事柄に対して主体的に取り組む姿勢や意欲、多様な人々と協働して学ぶ態度などを重点的に評価します。

デザイン学科

(1) 学校推薦型選抜（公募制）

デザイン学科での学びに対して強い関心と意欲をもち、本学科の特徴を活かしつつ学習し成長できる受験生を、一般選抜以外の基準で受け入れるための入学試験です。

一定の学力水準を備え、高等学校での学習やその他の活動に真摯に取り組んできた人を求めており、出願には調査書全体の評定平均値が 4.0 以上であることが条件です。

この入学試験では、「推薦書」「調査書」「志望理由書」の内容を踏まえ、関心、意欲、態度などを「面接」で評価します。さらに「小論文」で、読解力、論理的思考力、発想力、表現力などを評価します。

なお、本学の設立の趣旨に鑑み、静岡県内の高等学校出身者を一定数受け入れます。

(2) 一般選抜（前期日程）

デザイン学科で学ぶ上で必要となる幅広い基礎学力を身につけた受験生を選抜するための入学試験です。大学入学共通テストでは、次の（ア）（イ）（ウ）の 3 教科 3 科目を採用します。

（ア）「外国語」（英語）

（イ）「国語」及び「数学」から最高得点の 1 科目

（ウ）（イ）で採用されなかった教科及び「地理歴史」「公民」「理科」「情報」から最高得点の 1 科目

これにより高等学校などで幅広い分野の基礎的な知識の修得ができているかを評価します。

個別学力試験では、「数学」または「実技（鉛筆描写）」（以下「実技」と表記）を選択することができます。「数学」を課す選抜では、数学に関する幅広い知識及び基礎的計算力に加え、さまざまな事象について数学を用いて理解し思考する力などを評価します。

一方、「実技」を課す選抜では、観察力、発想力、表現力などを評価します。なお、「実技」を選択した者のうち、「実技+ポートフォリオ提出型選抜」を出願時に選択した者は、「実技」に加え、出願時に提出するポートフォリオ 10 作品（制作活動の履歴を示すために自身の作品を取りまとめたもの）に関する「口頭試問」を課します。「口頭試問」を通して、観察力、発想力、表現力に加えて作品制作能力を造形と色彩の観点から評価します。

(3) 一般選抜（後期日程）

デザイン学科で学ぶ上で必要となる基礎学力を身につけた受験生を選抜するための入学試験です。大学入学共通テストでは、次の（ア）（イ）（ウ）の 3 教科 3 科目を採用します。

（ア）「外国語」（英語）

（イ）「国語」及び「数学」から最高得点の 1 科目

（ウ）（イ）で採用されなかった教科及び「地理歴史」「公民」「理科」「情報」から最高得点の 1 科目

これにより高等学校などで幅広い分野の基礎的な知識の修得ができているかを評価します。

個別学力試験の「実技（鉛筆描写）」では、観察力、発想力、表現力などを評価します。

募集人員

	学部	文化政策			デザイン
	学科	国際文化	文化政策	芸術文化	デザイン
	入学定員	100	55	55	110
一般選抜	前期日程	65	40	36	75 Ⅰ 数学 40 Ⅱ 実技 35※ ¹
	後期日程	10	5	5	10
学校推薦型選抜	公募制	18※ ²	10	14※ ⁴	25※ ⁵
	英語重点型公募制	7※ ³	—	—	—
特別選抜	社会人	若干名			若干名
	帰国生徒	若干名			若干名
	外国人留学生	若干名			若干名

※1 「ポートフォリオ提出型選抜」の合格者5名を含みます。

※2 このうち、静岡県内の高等学校を卒業した人及び卒業見込みの人を8名以上とします。

※3 このうち、静岡県内の高等学校を卒業した人及び卒業見込みの人を2名以上とします。

※4 このうち、高等学校の専門学科・総合学科を卒業した人及び卒業見込みの人を2名以上とします。

※5 このうち、静岡県内の高等学校を卒業した人及び卒業見込みの人を8名以上とします。

入試日程

試験区分		出願期間（必着）	試験日	合格発表日	手続期間（必着）
一般選抜					
前期日程		1/25（月） ～2/3（水）	2/25（木） 2/26（金）※ ¹	3/6（土）	3/7（日） ～3/15（月）
後期日程		1/25（月） ～2/3（水）	3/12（金）	3/20（土）	3/21（日） ～3/27（土）
学校推薦型選抜					
公募制・英語重点型公募制		11/1（日） ～11/6（金）	11/21（土）	12/1（火）	12/2（水） ～12/10（木）
特別選抜					
社会人		11/1（日） ～11/6（金）	11/21（土）	12/1（火）	12/2（水） ～12/10（木）
帰国生徒	文化政策	11/1（日） ～11/6（金）	11/21（土）	12/1（火）	12/2（水） ～12/10（木）
	デザイン	1/25（月） ～2/3（水）	2/25（木）	3/6（土）	3/7（日） ～3/15（月）
外国人留学生	文化政策	11/1（日） ～11/6（金）	11/21（土）	12/1（火）	12/2（水） ～12/10（木）
	デザイン	1/25（月） ～2/3（水）	2/25（木）	3/6（土）	3/7（日） ～3/15（月）

※1 2/26（金）はデザイン学部「数学」試験、デザイン学部ポートフォリオ提出型選抜「口頭試問」試験の実施日、及び芸術文化学科「面接」試験の予備日です。

芸術文化学科の前期日程は、志願状況により面接を2日間に分けて行う場合があります。面接を2日間に分けて行う場合は、受験票にて通知します。

出願資格

1 一般選抜

本学の一般選抜に出願できるのは、次のいずれかに該当し、かつ「令和9年度大学入学共通テスト」において本学が指定する教科・科目を受験した人です。

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者及び2027年3月に卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育（特別支援学校の高等部、高等専門学校の3年次が該当）を修了した者及び2027年3月に修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2027年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び2027年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第1項第1号の規定により文部科学大臣の指定した者
 - ② 学校教育法施行規則第150条第1項第2号の規定により文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び2027年3月31日までに修了見込みの者
 - ③ 学校教育法施行規則第150条第1項第3号の規定により専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び2027年3月31日までに修了見込みの者
 - ④ 学校教育法施行規則第150条第1項第4号の規定により文部科学大臣の指定した者
 - ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び2027年3月31日までに合格見込みの者で2027年3月31日までに18歳に達する者
 - ⑥ 学校教育法第90条第2項の規定により他の大学に入学した者であって、当該者を本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
 - ⑦ 本学において個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年3月31日までに18歳に達する者

＜注意事項＞

出願資格(3)⑥⑦によって出願しようとする者は、出願資格の審査が必要です。

2026年11月6日（金）までに入試室（TEL 053-457-6401 Email アドレス nyushi@suac.ac.jp）に連絡をしてください。

2 学校推薦型選抜

【公募制】

文化政策学部・デザイン学部 各学科共通

下記の条件をすべて満たし、高等学校長もしくは中等教育学校長が責任をもって推薦する者

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校（高等部を置く特別支援学校、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程を含む）※¹ を 2026 年 3 月から 2027 年 3 月までに卒業した者及び卒業見込みの者 ※²
- (2) 合格した場合に入学を確約できる者
- (3) 調査書の全体の評定平均値が 4.0 以上の者

※¹ 特別支援学校、在外教育施設、専修学校の高等課程について、詳細は本学入試室にお問い合わせください。

※² 在籍時の学校推薦型選抜による出願は 1 回のみとする。

【英語重点型公募制】

文化政策学部 国際文化学科のみ

下記の条件をすべて満たし、高等学校長もしくは中等教育学校長が責任をもって推薦する者

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校（高等部を置く特別支援学校、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程を含む）※¹ を卒業した者及び 2027 年 3 月までに卒業見込みの者 ※²
- (2) 合格した場合に入学を確約できる者
- (3) 調査書の全体の評定平均値が 3.8 以上でかつ外国語の評定平均値が 4.3 以上の者
または、調査書の全体の評定平均値が 3.5 以上でかつ次の①～⑦のいずれかに当てはまる者
 - ① 実用英語技能検定試験 2 級以上または CSE スコア 1950 点以上
 - ② TOEFL iBT 2026. 1. 21 以降の受験者は 3.0 (44) 以上
2026. 1. 20 以前の受験者は 42 以上
 - ③ TOEIC L&R および S&W の合計が 790 点以上
 - ④ IELTS 4.0 以上
 - ⑤ GTEC 930 点以上 ※オフィシャルスコアに限る
 - ⑥ TEAP (4 技能) 225 点以上
 - ⑦ ケンブリッジ英語検定 140 点以上

※¹ 特別支援学校、在外教育施設、専修学校の高等課程について、詳細は本学入試室にお問い合わせください。

※² 在籍時の学校推薦型選抜による出願は 1 回のみとする。

3 特別選抜

【社会人入学試験】

2027 年 4 月 1 日現在、社会人として 5 年以上の経験*を有し、23 歳以上の者で、次のいずれかに該当する者（外国人留学生を除く）

- (1) 高等学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による 12 年以上の学校教育を修了した者
- (3) 学校教育法施行規則第 150 条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び 2027 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者

※定時制、通信制以外の学校の在学期間は、社会人の経験期間に含まない。

【帰国生徒入学試験】

次の (1)、(2) の資格・要件をすべて満たしている者

- (1) 日本国籍を有する者
- (2) 次のいずれかに該当する者
 - ① 外国において、2 年以上*正規の教育制度に基づく学校教育を受け、原則として日本の高等学校の第 2 学年または第 3 学年に編入を認められた者で、2026 年 4 月 1 日から 2027 年 3 月 31 日までに卒業又は卒業見込みの者
 - ② 外国において、最終学年を含めて 2 年以上*正規の教育制度に基づく学校教育を受け、学校教育における 12 年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む）を 2025 年 4 月 1 日から 2027 年 3 月 31 日までに修了又は修了見込みの者
 - ③ 外国における、12 年の課程修了相当の学力認定試験に 2025 年又は 2026 年に合格した者で 2027 年 3 月 31 日までに 18 歳に達する者
 - ④ 外国において、最終学年を含めて 2 年以上*文部科学大臣が指定した 11 年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を 2025 年 4 月 1 日から 2027 年 3 月 31 日までに修了又は修了見込みの者
 - ⑤ 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を 2025 年又は 2026 年に授与された者
 - ⑥ 外国において、ドイツ連邦共和国の各州で大学入学資格として認められているアビトゥア資格の取得者に授与される一般的大学入学資格証明書を 2025 年又は 2026 年に授与された者
 - ⑦ 外国において、フランス共和国で大学入学資格として認められているバカロレア資格の取得者に授与されるバカロレア資格証書を 2025 年又は 2026 年に授与された者
 - ⑧ 外国において、英国の大学入学資格として認められている GCE・A レベル資格又は国際 A レベル資格を 2025 年又は 2026 年に有した者
 - ⑨ 外国において、欧州連合構成国で大学入学資格として認められている欧州バカロレア資格を 2025 年又は 2026 年に取得した者
 - ⑩ 外国において、最終学年を含めて 2 年以上*国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia、COBIS）の認定を受けた教育施設の教育を受け、認定を受けた教育施設における 12 年の課程を 2025 年 4 月 1 日から 2027 年 3 月 31 日までに修了又は修了見込みの者

※出願資格に関して、詳細は本学入試室にお問い合わせください。

※文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設で教育を受けた期間は①、②、④、⑩の「2 年以上」という期間に算入しない。

【外国人留学生入学試験】

次の（１）～（３）の資格・要件をすべて満たしている者

- （１） 日本国籍を有しない者（日本国永住許可がない者に限る※¹）
- （２） 次のいずれかに該当する者
 - ① 外国において学校教育における 12 年の課程※²を修了した者（2027 年 3 月 31 日までに修了見込の者を含む）または、これに準ずる者で文部科学大臣の指定したものに該当する者
 - ② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者
 - ③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者
 - ④ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者
 - ⑤ 英国の大学入学資格として認められている GCE・A レベル資格又は国際 A レベル資格を有する者
 - ⑥ 外国において、欧州連合構成国で大学入学資格として認められている欧州バカロレア資格を有する者
 - ⑦ 国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia、COBIS）の認定を受けた教育施設の 12 年の課程※²を修了した者
- （３） 独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験（出願開始日より遡って 2 年以内に受験したもののみ有効）」において「日本語」及び「総合科目」を受験した者※³。なお、文化政策学部においては「総合科目」の得点が 120 点以上の者

※ 1 日本国永住許可を得ている者は、条件を満たしている場合、社会人入試の受験対象者となる。

※ 2 12 年の課程には、日本の学校教育制度における修学期間も含まれるが、その場合には、修学期間が通算 3 年以内であること。

※ 3 出題言語は日本語に限る。「日本語」「総合科目」のスコアは、同一実施回のものに限る。

※その他、出願資格に関して、詳細は本学入試室にお問い合わせください。

出願上の注意事項

2027 年度国公立大学（ただし、独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の一般選抜は、「分離分割方式」と「公立大学中期日程」の2つの方式により実施されます。志願者は分離分割方式の「前期日程」で試験を実施する大学・学部から1つ、「後期日程」で試験を実施する大学・学部から1つ、及び「公立大学中期日程」から1つの、合計3つまでの大学・学部に出願することができます。

- (1) 本学または他の国公立大学の前期日程試験に合格し、3月15日までに入学手続を行った人は、本学または他の国公立大学の後期日程試験及び中期日程試験を受験しても、その合格者とはなりません。
- (2) 本学または他の国公立大学・学部の学校推薦型及び総合型選抜合格者は、当該学校推薦型及び総合型選抜を実施する大学・学部の定める入学辞退手続きにより入学を辞退した場合を除いて、一般選抜を受験しても入学許可は得られません。
- (3) 本学では、同一学部、異なる学部を問わず、前期日程と後期日程に併願することができます。ただしその場合、それぞれに出願書類をそろえ、別々の封筒で郵送してください。
- (4) 本学の各学科が指定する大学入学共通テストの教科・科目を受験していない場合は、個別学力試験を受験することはできません。出願にあたっては、志望学科の課している大学入学共通テストの教科・科目を受験しているかどうか、十分確認してください。

入学者選抜の実施教科・科目等

◆一般選抜

文化政策学部 国際文化学科 前期日程

1 試験教科・科目及び配点

大学入学共通テスト	教科	科目	配点		合計	総計
	外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』より1科目（※1 ※2）	250		650	
	国語	『国語』	選① 200	選② 200		
	地理歴史	『地理総合, 地理探究』、『歴史総合, 日本史探究』、『歴史総合, 世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』、『公共, 倫理』、『公共, 政治・経済』				
	公民					
	数学	『数学Ⅰ, 数学A』、『数学Ⅰ』 『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』				
	理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』				
	情報	『情報Ⅰ』				
	選①：最高得点の1科目を採用します。 選②：選①で採用した科目を除いた最高得点の1科目を採用します。 ※1：『英語』を選択した場合は、200点満点（リーディング100点、リスニング100点）を250点満点に換算します。なお、リスニング欠席者は失格とします。 ※2：『英語』を選択し、リスニングを免除された場合は、リーディングの100点満点を250点満点に換算します。					
個別学力試験	教科	科目	配点	合計		
	外国語	「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ」、「論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」※3	130	260		
	国語	「現代の国語」、「言語文化」、「論理国語」、「文学国語」※4	130			
	※3：リスニング及びスピーキングは課しません。 ※4：近代以降の文章を出題範囲とします。					

2 2段階選抜の実施について

2段階選抜は行いません。

1 試験教科・科目及び配点

大学入学共通テスト	教科	科目	配点		合計	総計		
	外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』より1科目（※1 ※2）	200		700			
	国語	『国語』	200					
	地理歴史	『地理総合, 地理探究』、『歴史総合, 日本史探究』、『歴史総合, 世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』、『公共, 倫理』、『公共, 政治・経済』	選① 200	選② 100				
	公民							
	数学						『数学Ⅰ, 数学A』、『数学Ⅰ』	—
							『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』	—
	理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	—					
	情報	『情報Ⅰ』	—					
選①：最高得点の1科目を採用します。 選②：選①で採用した科目を除いた最高得点の1科目を採用します。 ※1：『英語』を選択した場合は、200点満点（リーディング100点、リスニング100点）をそのまま採用します。なお、リスニング欠席者は失格とします。 ※2：『英語』を選択し、リスニングを免除された場合は、リーディングの100点満点を200点満点に換算します。					1000			
個別学力試験	教科	科目	配点	合計				
	外国語	「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ」、「論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」※3	150	300				
	国語	「現代の国語」、「言語文化」、「論理国語」、「文学国語」※4	150					
	※3：リスニング及びスピーキングは課しません。 ※4：近代以降の文章を出題範囲とします。							

2 2段階選抜の実施について

2段階選抜は行いません。

1 試験教科・科目及び配点

大学入学共通テスト	教科	科目	配点	合計	総計
	外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』より1科目（※1 ※2）	200	700	1000
	国語	『国語』	250		
	地理歴史	『地理総合, 地理探究』、『歴史総合, 日本史探究』、『歴史総合, 世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』、『公共, 倫理』、『公共, 政治・経済』	選① 250		
	公民				
	選①：最高得点の1科目を採用します。 ※1：『英語』を選択した場合は、200点満点（リーディング100点、リスニング100点）をそのまま採用します。なお、リスニング欠席者は失格とします。 ※2：『英語』を選択し、リスニングを免除された場合は、リーディングの100点満点を200点満点に換算します。				
個別学力試験	教科	科目	配点	合計	
	外国語	「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ」、「論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」※3	100	300	
	国語	「現代の国語」、「言語文化」、「論理国語」、「文学国語」※4	100		
	その他	面接（口述試験）	100		
	※3：リスニング及びスピーキングは課しません。 ※4：近代以降の文章を出題範囲とします。				

2 多面的・総合的評価について

面接（口述試験）において調査書及び本学が指定する志望理由書を参考資料とします。

3 2段階選抜の実施について

2段階選抜は行いません。

1 試験教科・科目及び配点

大学入学 共通テスト	教科	科目		配点		合計	総計
	外国語	『英語』（※1 ※2）		200		600 (400) ※3	
	国語	『国語』		選① 200	選② 200		
	数学	『数学Ⅰ, 数学A』、『数学Ⅰ』					
		『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』					
	地理歴史	『地理総合, 地理探究』、『歴史総合, 日本史探究』、 『歴史総合, 世界史探究』、『地理総合／歴史総合／ 公共』、『公共, 倫理』、『公共, 政治・経済』		—			
	公民			—			
	理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』		—			
情報	『情報Ⅰ』		—				
同一教科からは1科目のみ採用とします。 選①：最高得点の1科目を採用します。 選②：選①で採用した科目を除いた最高得点の1科目を採用します。 ※1：200点満点（リーディング100点、リスニング100点）をそのまま採用します。 なお、リスニング欠席者は失格とします。 ※2：リスニングを免除された場合は、リーディングの100点満点を200点満点に換算 します。 ※3：個別学力試験で「Ⅱ：実技+ポートフォリオ提出型選抜」を選択した場合は、600 点満点における点数を400点満点に換算します。							
個別学力試験	選択区分	教科	科目		配点	合計	1000
	Ⅰ 数学 ※4	数学	「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学A」、「数学B」、 「数学C」※6		(400)	400	
	Ⅱ 実技 ※4	その他	実技「鉛筆描写」※7		(400)		
	Ⅱ 実技+ ポートフォ リオ提出型 選抜 (※4 ※5)	その他	実技「鉛筆描写」※7		(400)	(600) ※8	
			口頭試問		(200)		
※4：選択区分Ⅰ・Ⅱは出願時に選択します。さらに選択Ⅱは、「実技」及び「実技+ ポートフォリオ提出型選抜」のどちらかを出願時に選択してください。 ※5：「実技+ポートフォリオ提出型選抜」で不合格であった場合、自動的に「実技」の みの受験者と同じ区分で合否判定の対象となります。その場合、「実技」のみの配 点（共通テスト600点、個別学力試験400点）にて評価されます。 ※6：「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学A」は、すべての単元を出題範囲とします。「数学B」 及び「数学C」からは、「統計的な推測」「数列」「ベクトル」の3項目を出題し、 その中から2項目を選択解答してください。 ※7：「鉛筆描写」には、想定描写を含みます。 ※8：「実技+ポートフォリオ提出型選抜」を選択した場合は、個別学力試験の合計が 600点満点になります。							

2 多面的・総合的評価について

- ・実技（鉛筆描写）において、観察力、発想力、表現力などを評価します。
- ・実技+ポートフォリオ提出型選抜では、実技（鉛筆描写）試験に加え、出願時に提出するポートフォリオ10作品（制作活動の履歴を示すために自身の作品を取りまとめたもの）に関する口頭試問において、観察力、発想力、表現力に加えて作品制作能力を造形と色彩の観点から評価します。

3 2段階選抜の実施について

2段階選抜は行いません。

1 試験教科・科目及び配点

大学入学共通テスト	教科	科目	配点	合計	総計	
	外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』より1科目（※1 ※2）	200	450		
	国語	『国語』	150			
	地理歴史	『地理総合, 地理探究』、『歴史総合, 日本史探究』、『歴史総合, 世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』、『公共, 倫理』、『公共, 政治・経済』	選① 100			
	公民					
	数学					『数学Ⅰ, 数学A』、『数学Ⅰ』 『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』
	理科					『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』
	情報	『情報Ⅰ』				
	選①：最高得点の1科目を採用します。 ※1：『英語』を選択した場合は、200点満点（リーディング100点、リスニング100点）をそのまま採用します。なお、リスニング欠席者は失格とします。 ※2：『英語』を選択し、リスニングを免除された場合は、リーディングの100点満点を200点満点に換算します。					
個別学力試験	教科	科目	配点	合計		
	その他	面接（口述試験） ※3	100	100		
	※3：試験当日に面接資料となる文章の作成を課します。文章の内容は評価の対象とはしません。					

2 多面的・総合的評価について

面接（口述試験）において、調査書を参考資料とします。

3 2段階選抜の実施について

2段階選抜は行いません。

文化政策学部 文化政策学科 後期日程

1 試験教科・科目及び配点

大学入学共通テスト	教科	科目	配点	合計	総計
	外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』より1科目（※1 ※2）	200	500	
	国語	『国語』	200		
	地理歴史	『地理総合, 地理探究』、『歴史総合, 日本史探究』、『歴史総合, 世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』、『公共, 倫理』、『公共, 政治・経済』	選① 100		
	公民				
	数学	『数学Ⅰ, 数学A』、『数学Ⅰ』 『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』			
	理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』			
	情報	『情報Ⅰ』			
	選①：最高得点の1科目を採用します。 ※1：『英語』を選択した場合は、200点満点（リーディング100点、リスニング100点）をそのまま採用します。なお、リスニング欠席者は失格とします。 ※2：『英語』を選択し、リスニングを免除された場合は、リーディングの100点満点を200点満点に換算します。				
個別学力試験	教科	科目	配点	合計	
	その他	面接（口述試験） ※3	100	100	
	※3：試験当日に面接資料となる文章の作成を課します。文章の内容は評価の対象とはしません。				

2 多面的・総合的評価について

面接（口述試験）において、調査書を参考資料とします。

3 2段階選抜の実施について

2段階選抜は行いません。

1 試験教科・科目及び配点

大学入学共通テスト	教科	科目	配点	合計	総計
	外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』より1科目（※1 ※2）	150	500	
	国語	『国語』	200		
	地理歴史	『地理総合,地理探究』、『歴史総合,日本史探究』、『歴史総合,世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』、『公共,倫理』、『公共,政治・経済』	選① 150		
	公民				
	数学	『数学Ⅰ, 数学A』、『数学Ⅰ』 『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』			
	理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』			
	情報	『情報Ⅰ』			
	選①：最高得点の1科目を採用します。 ※1：『英語』を選択した場合は、200点満点（リーディング100点、リスニング100点）を150点満点に換算します。なお、リスニング欠席者は失格とします。 ※2：『英語』を選択し、リスニングを免除された場合は、リーディングの100点満点を150点満点に換算します。				
個別学力試験	教科	科目	配点	合計	
	その他	面接（口述試験） ※3	100	100	
	※3：試験当日に面接資料となる文章の作成を課します。文章の内容は評価の対象とはしません。				

2 多面的・総合的評価について

面接（口述試験）において、調査書及び本学が指定する志望理由書を参考資料とします。

3 2段階選抜の実施について

2段階選抜は行いません。

デザイン学部 デザイン学科 後期日程

1 試験教科・科目及び配点

大学入学共通テスト	教科	科目	配点		合計	総計
	外国語	『英語』（※1 ※2）	100		300	900
	国語	『国語』	選① 100	選② 100		
	数学	『数学Ⅰ』、『数学Ⅰ, 数学A』				
		『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』				
	地理歴史	『地理総合, 地理探究』、『歴史総合, 日本史探究』、『歴史総合, 世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』、『公共, 倫理』、『公共, 政治・経済』	—			
	公民		—			
	理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	—			
	情報	『情報Ⅰ』	—			
同一教科からは1科目のみ採用とします。 選①：最高得点の1科目を採用します。 選②：選①で採用した科目を除いた最高得点の1科目を採用します。 ※1：200点満点（リーディング100点、リスニング100点）を、100点満点に換算します。なお、リスニング欠席者は失格とします。 ※2：リスニングを免除された場合は、リーディングの100点満点をそのまま採用します。						
個別学力試験	教科	科目	配点	合計		
	その他	実技「鉛筆描写」 ※3	600	600		
	※3：「鉛筆描写」には、想定描写を含みます。					

2 多面的・総合的評価について

実技（鉛筆描写）において、観察力、発想力、表現力などを評価します。

3 2段階選抜の実施について

2段階選抜は行いません。

◆学校推薦型選抜

文化政策学部

学科	試験区分	募集人員	選抜方法	配点	総計
国際文化	公募制	18※ ¹	小論文	100	200
			面接	100	
	英語重点型公募制	7※ ²	英語小論文	100	200
			英語面接、日本語面接	100	
文化政策	公募制	10	小論文	100	200
			面接	100	
芸術文化	公募制	14※ ³	小論文	100	200
			面接	100	

※1 このうち、静岡県内の高等学校を卒業した人及び卒業見込みの人を8名以上とします。

※2 このうち、静岡県内の高等学校を卒業した人及び卒業見込みの人を2名以上とします。

※3 このうち、高等学校の専門学科・総合学科を卒業した人及び卒業見込みの人を2名以上とします。

◎多面的・総合的評価について

面接において調査書及び本学が指定する推薦書・志望理由書を参考資料とします。

デザイン学部

学科	試験区分	募集人員	選抜方法	配点	総計
デザイン	公募制	25※ ⁴	小論文	100	200
			面接	100	

※4 このうち、静岡県内の高等学校を卒業した人及び卒業見込みの人を8名以上とします。

◎多面的・総合的評価について

面接において調査書及び本学が指定する推薦書・志望理由書を参考資料とします。

◆特別選抜

社会人入学試験

学部	募集人員	選抜方法（配点）	総計
文化政策	若干名	小論文（100点）、面接（100点）	200
デザイン	若干名	小論文（100点）、面接（100点）	200

帰国生徒入学試験

学部	募集人員	選抜方法（配点）	総計
文化政策	若干名	小論文（100点）、面接（100点）	200
デザイン	若干名	実技「鉛筆描写」（100点）、面接（100点）	200

外国人留学生入学試験

学部	募集人員	選抜方法（配点）	総計
文化政策	若干名	小論文（100点）、面接（100点）	200
デザイン	若干名	実技「鉛筆描写」（100点）、面接（100点） 日本留学試験成績「日本語」（100点）及び 「総合科目」（50点）	350

受験上及び修学上の配慮を必要とする場合の事前相談

受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、電話またはメールで本学までご相談ください。大学入学共通テストの受験に際し受験上の配慮を申請した人も、必ずご相談ください。ご相談後、本申請に必要な書類をお送りします。

申請期限	各選抜の学生募集要項に記載します。
本申請の方法	大学から送付されてきた書類に必要事項を記入の上、「医師の診断書（原本）」又は「身体障害者手帳（写）」と大学入学共通テストで受験上の配慮を認められた場合は「受験上の配慮事項決定通知書（写）」を添えて本申請してください。なお、必要な場合には本人又はその立場を代弁できる方との面談を行うことがありますのでご了承ください。
連絡先	〒 430-8533 静岡県浜松市中央区中央 2-1-1 静岡文化芸術大学 入試室 TEL 053-457-6401 Email アドレス nyushi@suac.ac.jp

学生募集要項の配信について

2027 年度入試（2027 年 4 月に入学する学生の受験する入試）の学生募集要項は、次のように配信予定です。

名称	配信開始時期（予定）
学生募集要項（一般選抜）	2026 年 10 月下旬
学生募集要項（学校推薦型選抜）	2026 年 9 月下旬
学生募集要項（特別選抜：社会人・帰国生徒・外国人留学生入試）	2026 年 9 月下旬

一般選抜及び学校推薦型選抜はインターネットによる出願となります。

いずれの選抜方法でも、紙媒体の学生募集要項の配布はしておりません。

学生募集要項は、本学公式 Web サイトから PDF ファイルをダウンロードしてください。

アクセスマップ



JR 浜松駅より徒歩 15 分

遠州鉄道「遠州病院」下車、徒歩 8 分

浜松駅からバスをご利用の場合

浜松駅北口バスターミナル 10 番のりばから出ているバスは、「文化芸術大学」バス停を通ります。ただし、系統番号 2 番を除きます。

※本学へお越しの際は、公共交通機関をご利用ください。

付録 2026 年度静岡文化芸術大学入試結果

◆最近 2 カ年の入試状況

(注) 実質倍率は受験者数÷合格者数で算出

【一般選抜】

〈2026 年度〉

学部・学科・区分			募集人数	志願者数	受験者数	合格者数	実質倍率	入学者数
文化政策	国際文化	前期	65	177	163	71	2.3	64
		後期	10	313	74	22	3.4	18
	文化政策	前期	40	67	64	44	1.5	41
		後期	5	75	8	6	1.3	4
	芸術文化	前期	36	100	96	43	2.2	41
		後期	5	105	39	6	6.5	3
デザイン	デザイン	前期Ⅰ（数学）	40	194	190	44	4.3	41
		前期Ⅱ（実技）	35 ※(5)	128 (25)	124 (25)	43 (5)	2.9 (5.0)	37 (5)
		後期	10	172	102	15	6.8	11
合計			246	1331	860	294	—	260

〈2025 年度〉

2020年度

学部・学科・区分			募集人数	志願者数	受験者数	合格者数	実質倍率	入学者数
文化政策	国際文化	前期	65	150	143	70	2.0	61
		後期	10	252	70	28	2.5	26
	文化政策	前期	40	149	141	48	2.9	41
		後期	5	148	54	9	6.0	7
	芸術文化	前期	36	74	71	43	1.7	41
		後期	5	84	28	5	5.6	4
デザイン	デザイン	前期Ⅰ（数学）	40	177	170	45	3.8	43
		前期Ⅱ（実技）	35 ※(5)	124 (26)	118 (26)	43 (5)	2.7 (5.2)	40 (5)
		後期	10	158	82	10	8.2	9
合計			246	1,316	877	301	—	272

※（ ）書きは、ポートフォリオ提出型選抜入試の人数と倍率

【学校推薦型選抜】

〈2026 年度〉

学部・学科・区分			募集人数	志願者数	受験者数	合格者数	実質倍率	入学者数
文化政策	国際文化	英語重点型公募制	7	16	16	7	2.3	7
		公募制	18	38	38	18	2.1	18
	文化政策	公募制	10	39	39	11	3.5	11
	芸術文化	公募制	14	45	45	14	3.2	14
デザイン	デザイン	公募制	25	114	114	25	4.6	25
合計			74	252	252	75	3.4	75

〈2025 年度〉

学部・学科・区分			募集人数	志願者数	受験者数	合格者数	実質倍率	入学者数
文化政策	国際文化	英語重点型公募制	7	14	14	7	2.0	7
		公募制	18	45	45	18	2.5	18
	文化政策	公募制	10	32	32	10	3.2	10
	芸術文化	公募制	14	56	55	15	3.7	15
デザイン	デザイン	公募制	25	111	111	26	4.3	26
合計			74	258	257	76	—	76

◆最近２ヵ年の一般選抜入試（前期日程）合格者の得点状況

後期日程は非公開

〈2026 年度〉

学部・学科・区分			最低点	平均点	満点
文化政策	国際文化		704.0	734.0	1,050
	文化政策		595.0	692.4	1,000
	芸術文化		660.3	711.6	1,000
デザイン	デザイン	前期Ⅰ（数学）	560.0	630.8	1,000
		前期Ⅱ（実技）	621.0	691.3	1,000

〈2025 年度〉

学部・学科・区分			最低点	平均点	満点
文化政策	国際文化		691.5	737.1	1,050
	文化政策		684.0	715.1	1,000
	芸術文化		648.0	710.3	1,000
デザイン	デザイン	前期Ⅰ（数学）	600.0	654.8	1,000
		前期Ⅱ（実技）	641.2	707.7	1,000

◆男女比

※社会人、帰国生徒、外国人留学生入試を含まない

学部	学科	合格者	
		男	女
文化政策	国際文化	11.9%	88.1%
	文化政策	18.0%	82.0%
	芸術文化	7.9%	92.1%
デザイン	デザイン	21.3%	78.7%
合計		15.4%	84.6%

◆現浪比

※社会人、帰国生徒、外国人留学生入試を含まない

学部	学科	合格者			
		新卒		既卒	
文化政策	国際文化	112 人	94.9%	6 人	5.1%
	文化政策	60 人	98.4%	1 人	1.6%
	芸術文化	62 人	98.4%	1 人	1.6%
デザイン	デザイン	115 人	90.6%	12 人	9.4%
合計		349 人	94.6%	20 人	5.4%

◆県内外比

※社会人、帰国生徒、外国人留学生入試を含まない

※県内県外は出身高校の所在地による。高卒認定・大検合格者は県外とする

学部	学科	合格者			
		県内		県外	
文化政策	国際文化	61 人	51.7%	57 人	48.3%
	文化政策	29 人	47.5%	32 人	52.5%
	芸術文化	27 人	42.9%	36 人	57.1%
デザイン	デザイン	38 人	29.9%	89 人	70.1%
合計		155 人	42.0%	214 人	58.0%

◆都道府県別志願者・合格者・入学者

※卒業した高等学校の所在地により集計

※その他は、特別選抜の者、外国の学校を卒業した者、高等学校卒業程度認定試験による者

都道府県	志願者	合格者	入学者
北海道	27	6	5
青森県	12	3	2
岩手県	3		
宮城県	1		
秋田県	1		
山形県	6	1	1
福島県	20	4	4
茨城県	14	1	
栃木県	14	1	
群馬県	5		
埼玉県	4		
千葉県	8	4	4
東京都	11	1	1
神奈川県	7	2	2
新潟県	9	1	1
富山県	14	4	4
石川県	10	2	2
福井県	6	2	2
山梨県	28	7	5
長野県	35	8	8
岐阜県	53	14	13
静岡県	654	155	148
愛知県	402	96	85
三重県	61	11	9

都道府県	志願者	合格者	入学者
滋賀県	3	1	1
京都府	8		
大阪府	19	7	7
兵庫県	11	1	1
奈良県			
和歌山県	10	2	2
鳥取県	3	2	2
島根県	9	5	5
岡山県	21	4	2
広島県	10	1	
山口県	7	2	2
徳島県	2	1	1
香川県	3	1	1
愛媛県	5	2	1
高知県	5	2	2
福岡県	12	2	1
佐賀県	3	1	
長崎県	1		
熊本県	3	1	1
大分県	8	2	2
宮崎県	9	3	2
鹿児島県	6	1	1
沖縄県	9	3	3
その他	20	4	4

静岡文化芸術大学

<https://www.suac.ac.jp/>

入試室

静岡県浜松市中央区中央2丁目1番1号

TEL 053-457-6401 FAX 053-457-6123